

令和4年度 心のネットワーク 特別号

大松だより

発行日 令和5年2月28日
徳島市 大松小学校

学校評価に関わりアンケートでは多くの意見をいただき、ありがとうございました。学校で実施した子ども達のアンケートとともに結果のご報告をいたします。今回の結果をもとに、学校評価を行い、保護者の皆様と連携し、来年度からの学校運営に生かしてまいります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価結果

学校経営や教育活動に児童や保護者の声を反映するために、アンケート(学校評価)を実施しました。その結果は次のとおりです。

①とてもそう思う ②そう思う ③あまり思わない ④全く思わない
肯定的回答(①+②) 単位(%)

<保護者アンケート>

ことがら	①	②	③	④	肯定的回答	R3
1 お子さんは、楽しそうに学校に登校していますか。	47.4	46.1	5.8	0.7	93.5	94.1
2 お子さんは、宿題を忘れずにできていますか。	42.3	46.8	8.9	2.1	89.1	92.3
3 お子さんは、友達と協力して生活していますか。	34.1	61.1	4.8	0.0	95.2	↑ 94.5
4 お子さんは、学校での人権学習に真剣に取り組んでいますか。	26.6	64.2	8.2	1.0	90.8	↑ 86.7
5 本校の子どもたちは、すすんであいさつをすることができますか。	21.6	56.8	18.8	2.7	78.4	79.7
6 本校の子どもたちは、交通ルール(飛び出し禁止、青信号の遵守等)を守っていますか。	25.3	60.6	13.4	0.7	85.9	88.9
7 災害時の児童引き渡し(「緊急時引き渡しカード」の使用)方法等について家族間で確認できていますか。	21.2	54.3	22.2	2.4	75.5	79.7
8 お子さんは、家族や友達のためになることに取り組むことができますか。	27.6	60.8	11.6	0.0	88.4	89.7
9 お子さんは、家の人に対して思いやりのある言動がとれていますか。	31.1	56.7	11.9	0.3	87.8	↑ 86.7
10 お子さんは、外で遊んだり、体を動かしたりするなど、運動を楽しんでいますか。	48.5	29.7	20.1	1.7	78.2	79.7
11 お子さんは、好き嫌いなくバランスのよい食事がとれていますか。	28.7	45.7	23.2	2.4	74.4	↑ 72.7

<児童アンケート>

ことがら	①	②	③	④	肯定的回答	R3
1 学校に来るのが楽しみですか。	49.3	36.0	13.3	1.5	85.3	88.3
2 授業中、学習したことをノートに書いていますか。	63.9	26.3	8.9	1.0	90.2	↑ 71.7
3 授業中に先生や友達の話をよく聞いていますか。	49.0	40.6	9.7	0.7	89.6	↑ 87.8
4 授業中に自分の考えを書いたり、発言をしたりしていますか。	38.7	35.2	20.7	5.4	73.9	↑ 68.5
5 宿題を忘れずにできていますか。	51.0	28.6	16.5	3.9	79.6	83.4
6 自分のよいところや友達のよいところがいえますか。	47.0	33.0	15.5	4.4	80.0	80.7
7 相手の気持ちを考えていない友達がいたら注意できますか。	39.5	38.8	18.0	3.7	78.3	↑ 77.3
8 自分からすすんであいさつができていますか。	55.3	27.2	15.3	2.2	82.5	86.1
9 学校のきまりや約束、週目標などを守って生活ができていますか。	39.0	45.2	13.3	2.5	84.2	↑ 82.7
10 道路の右がわ(道路の安全な側)を1列で歩き、道路をわたるときには左右をたしかめていますか。	48.2	33.7	14.7	3.4	81.9	↑ 81.7
11 学級の話合いや、係の仕事、委員会の仕事などに取り組むことができますか。	55.2	33.3	9.1	2.5	88.5	↑ 83.9
12 自分でめあてをもって、それに向けてがんばることができますか。	39.8	38.3	17.4	4.4	78.1	83.9
13 家の人、友達、先生など、周りの人に対して、その人のことを思いやった話し方や行動をしていますか。	34.0	51.7	11.6	2.7	85.7	↑ 80.2
14 道徳の時間に勉強したことを自分の生活に生かすことができますか。	39.5	42.0	13.6	4.9	81.5	↑ 78
15 外で遊んだり、体を動かしたりすることが好きですか。	67.2	17.2	11.3	4.2	84.4	85.4
16 早寝・早起きをし、朝食を食べて登校できていますか。	48.0	33.7	14.0	4.2	81.7	↑ 81
17 給食をバランスよく、のこさず食べるすることができますか。	44.7	28.5	20.6	6.1	73.2	75.4

令和4年度 徳島市大松小学校 学校評価について アンケート結果から考えられる今後の取組

学校目標

「人と自然を大切にし、未来をひらく知恵・心・体をもった子どもの育成」

重点目標

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健康な心と体の育成
- ④個に応じた特別支援教育・生徒指導
- ⑤保護者・地域から信頼される学校
- ⑥研修の充実と協働体制の強化

①確かな学力の育成

- 児童は、真面目に授業を取り組み、聞く態度もよい。
- 「学習したことをノートに書いている」児童の肯定的回答は 90.2 %だった。「先生や友達の話の聞いている」児童も昨年度より増加した。今後はていねいでわかりやすいノート作りができるような指導、また、「学びナビ」も積極的に活用し、ただ聞くだけでなく、友達の意見に対し、質問したり反論したり、付け加えたりができるように指導していく。
- ICT 機器を積極的に活用し、自主的・主体的に学習に取り組む授業改善、友達の意見をもとに、自分の考えがさらに深まる授業づくりを行う。
- 家庭学習については、学年に応じた内容や量を検討する。ICT 機器による課題も積極的に取り入れ、家庭学習が授業でも生かされるようにしていく。「家庭学習の手引き」や学年だよりなどを活用し、家庭学習の定着を図っていく。

②豊かな心の育成

- 「自分や友達のよいところがいえる」児童の割合は、目標値には達しなかったが昨年度より増加した。今後は自他受容や自他理解を行う学級活動、人との関わりを増やしたり体験的な活動を増やしたりするなど自己肯定感を高める場の設定を工夫する。個性を伸ばし、認め合えるよう指導していく。
- 今年度は、にこにこタイムを実施、スポーツ集会や係活動等でも児童の主体性を高める取組ができた。話合いの進め方については、「学びナビ」を活用し、学年に応じて身に付けさせたい。
- 「場に応じた適切な言葉遣いと相手を思いやる言動がとれる」児童の育成を目指し、教職員で児童の言葉遣いについて実態把握を行った。まずは、教職員が品のある言葉遣いを心がけ、言語環境を整えようとして取り組んできた。児童の会話の中には、まだまだ気になる言葉遣いもある。ふさわしくない言動をしている児童にはその場で指導している。今後は、模範となる言動ができていく児童は、全体で賞賛するなど、気持ちのよい言葉遣いや行動が学校全体に広がるような指導を心がける。
- 「自分でめあてをもってそれに向けてがんばることができている」と捉えている児童は、目標値には達しなかった。キャリアパスポートを活用し、自分の生活を振り返る機会を設け、より高い目標に向かえるよう指導していく。

③健康な心と体の育成

- 大きな事故はなかったものの、「登下校時、危ない場面があった。」というご意見を何件かいただいた。保護者の方の朝の立哨や夏休みの校区内パトロール、登下校時の見守りなどの情報にも迅速に対応し、引き続き交通安全指導を徹底していく。
- 運動する児童とそうでない児童の二極化の傾向は依然として改善されていない。スマホやインターネット・ゲームの普及による影響も大きいと思われる。体育の授業、外遊びで運動の楽しさを体感させるとともに、運動の効果や体を動かすことの大切さを家庭に啓発していく。地域・家庭・学校が連携し児童が運動に親しめる環境づくり、支援をしていきたい。
- 多数の児童が早起きし、歩いて登校できている。中に朝食を食べてきていないという声も聞かれる。「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣の重要性について保健だより等で啓発していく。
- 2・4・6年生で徳島市の事業「食育パワーアップ作戦」を実施した。今年度は、給食週間に合わせ、校内で残食調査も行うなど、食育指導も行った。「バランスのよい食事」については、家庭によって意識に差があるようだ。今後も好き嫌いせず、バランスのよい食事の大切さを継続して児童に指導することに加え、家庭に啓発や発信をしていく。

④個に応じた特別支援教育・生徒指導

- 支援の必要な児童については、全教職員が全児童を見守る体制を継続していく。個に応じた指導をするため、機会を捉え、効果的な指導方法について全教職員で情報共有・情報交換していく。
- きまりを守る児童を育てるために、児童にはきまりの意義や約束を守ることの大切さ等の意識付けを繰り返し行う。教職員が学校のきまりを共通理解、適宜見直しを行い、学校全体で生徒指導に取り組む。

⑤保護者・地域から信頼される学校

- あいさつについては、保護者・地域の方からも多くのご意見をいただき、本校の課題の一つである。今後は、朝会や朝・帰りの会で自分から進んであいさつするよう指導を繰り返すことや振り返る場面を設け、あいさつすることで自分たちの生活がよりよくなることを実感させ、あいさつの定着を図る。
- 問題行動については、児童理解や児童の観察を丁寧に行い、問題が出現する前に予防的・積極的な指導を進める。不登校やいじめ等の問題は早い段階で見つけ、保護者や関係諸機関とも連携し、早期に対応する。
- 自然災害等の緊急事態発生時の対応として、今年度は、こども園と合同で垂直避難を実施した。今後は水平避難等、様々な状況を想定した避難訓練を実施していく。また、児童の緊急時引き渡し訓練についても、スムーズな引き渡しが可能か検証したい。

⑥研修の充実と協働体制の強化

- 児童一人一人を丁寧に見取り、様々な課題に対し、早期発見・早期対応することを続けていく。そのために、全教職員が情報共有を密にし、チームとして対応していく組織づくりを推進していく。
- 家庭との連絡を密にすることを心がける。一人一人の児童や保護者の思いに寄り添い、専門機関とも連携し、個々の課題を丁寧に解決していく体制を整える。
- 教職員の勤務時間の管理や意識改革、業務改善を推進し、教職員自身が心身の健康を維持し、児童と向き合えるような職場環境づくり、また、計画的にコンプライアンス研修を行い、教職員としての使命感をもち、児童・家庭・地域から信頼される学校づくりを推進する。